

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 24-1-79
補助事業名 平成24年度難病に関する研究機器の整備（医療機器の整備）補助事業
補助事業者名 公益財団法人日本心臓血圧研究振興会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

重症心不全はあらゆる心疾患の終末像であり、予後不良であることが知られています。また、重症化に伴い入退院を繰り返すうちに生活の質が低下し、引きこもりや寝たきりの一因となっています。わが国では、国民の高齢化により患者数は増加の一途をたどり、医療費高騰に繋がるなど社会問題化しています。慢性心不全に対する心臓リハビリは、多施設大規模研究により生命予後の改善と再入院率の減少が証明されていますが、リハビリ期間中に心不全が悪化する例が約2割存在するなど、その方法論は確立されていません。そこで我々は、重症心不全患者の身体機能を新しい方法で評価し、個々の能力に応じたリハビリ手法の開発と、更にリハビリ実施中の生体情報を一元管理することによって、その効果と安全性を検証し、方法論の確立を目指すことにしました。この研究で得られた新しい方法論を、正しく広く普及させることにより、多くの重症心不全患者の生命予後を改善させることが期待できます。これまで社会復帰が困難であった患者が、より質の高い生活を獲得し、尊厳ある人生を送るための一助となることが目指す姿です。

(2) 実施内容

物品名：重症難治性心不全における心臓リハビリテーション評価・治療システム

数量：一式

金額：30,000,000円

用途：難病に関する研究用機器

<http://www.sakakibara-heart.com/jigyuu/kifu-hojyo.html>

運動能力低下の原因が心臓、血管、筋肉のいずれにあるかを特定し、アシスト機能付携帯型エルゴメータや機能的電気刺激装置、リハビリ用筋力トレーニングマシンなど、新しいトレーニング機器を用い、またリハビリ実施中の12誘導心電図、連続血圧、動脈血酸素飽和度などの生体情報を一元管理することにより、従来よりも安全かつ有効な心臓リハビリ手法の確立を開発します。



エモーションサイクル



FMCマルチ5 X、4 X



ユネスクイーエフ

2 予想される事業実施効果

本システムは、無線による12誘導心電図、血圧計、経皮的動脈血酸素飽和度を使用することにより、全て運動機器使用時の生体情報をリアルタイムで一括管理することができます。このように運動処方とそれに基づく運動療法の実施状況を生体情報に同期させる試みは、世界的にも初めての研究事業です。

重症心不全患者に対するアシスト機能付き携帯型エルゴメータや電気刺激によるリハビリも先駆的な研究であり、運動リスクの高い重症心不全患者にとって理想的な心臓リハビリシステムを構築することができます。このシステムを用いて、重症心不全に対する心臓リハビリ手法を確立することにより、さまざまな心疾患患者の心臓リハビリに応用できます。本システムの一部や新しく確立されたりハビリ手法をパッケージとして普及させることにより、安全かつ質の高い心臓リハビリを全世界的に展開することが可能となります。

3 本事業により作成した印刷物等

ポスター <http://www.sakakibara-heart.com/userdata/hojyojigyoku-h24.pdf>

平成24年度事業報告書（8月頃完成予定）

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人日本心臓血圧研究振興会

(コウエキザイダンホウジンニホンシンゾウケツアツケンキュウシンコウカイ)

住 所： 〒162-0054

東京都新宿区河田町8-1

代 表 者： 理事長 細田瑛一 (ホソダサイイチ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 課長補佐 数見由紀 (カズミユキ)

電 話 番 号： 03-3357-7643

F A X： 03-3353-8090

E - m a i l： kazumi@hq.heart.or.jp

U R L： <http://www.sakakibara-heart.com/jigyou/kifu-hojyo.html>